

切り花栽培Ⅱ

| | | | |
|-----|-------|-------|--|
| 講師名 | 三好 智子 | 実務経験等 | 高校教諭としての実務経験を活かし、切り花栽培に関する基礎知識と技術の習得や、基本用語、生理・生態、栽培施設、用具・資材等、繁殖方法、開花調節技術、品質向上技術の基礎について講義を行う。 |
|-----|-------|-------|--|

| 科目区分 | 学科・経営科 | 必修・選択 (必修、自由)区分 | 履修 学年 | 開講 学期 | 標準 時間 | 単位数 |
|-------------|--|--------------------|----------|----------|----------|-----|
| 農産園芸学科・専門科目 | 農産園芸・花き | 必修 | 2 | 通年 | 60 | 4 |
| 使用教科書・副教材 | 教科書：農学基礎セミナー 草花栽培の基礎 樋口春三 (社)農文協 参考書：令和2年度岩手県花き栽培技術指針 岩手県 | | | | | |
| 授業の目的 | 岩手県の主要な切り花品目の良品生産に必要な生理・生態や基本的栽培技術を品目ごとに理解する。 | | | | | |
| 授業の到達目標 | 岩手県の主要品目(リンドウ、小ギク、トルコギキョウ、ユリなど)の生理・生態に基づいた基本的栽培技術を理解する。 | | | | | |

| 月日 | 学習項目 | 学 習 事 項 | 時間 | 授業 形式 | 備 考 (提出物等) |
|-----------------|---|---|----|----------|---------------|
| 4月27日 | 小ギクの栽培技術① | 小ギクの育苗と定植、および活着後の栽培技術について学習する。 | 2 | 講義 | |
| 5月7日 5月18日 | リンドウの栽培技術① | リンドウの育苗と株仕立て、および定植技術について学習する。 | 4 | 講義 | |
| 5月14日 | トルコギキョウの栽培技術① | トルコギキョウの育苗と定植、および活着後の栽培技術について学習する。 | 2 | 講義 | |
| 5月25日 | ユリの栽培技術 | ユリの育苗と定植、および活着後の栽培技術について学習する。 | 2 | 講義 | |
| 6月3日 | トルコギキョウの栽培技術② | ロゼットや短茎開花の回避技術について学習する。 | 2 | 講義 | |
| 6月8日 6月25日 | 病害虫防除技術 | 主要病害虫の診断方法と防除対策(薬剤耐性、ローテーション、薬害など)について学習する。 | 4 | 講義 | |
| 8月20日 | 小ギクの栽培技術② | 小ギクの採花について学習する。 | 2 | 講義 | |
| 8月26日 | リンドウの栽培技術② | リンドウの採花について学習する。 | 2 | 講義 | |
| 8月27日 | 切り花の品質保持技術① | 主要切り花における品質保持技術(前処理、後処理など)について学習する。 | 2 | 講義 | |
| 8月31日 9月2日 | 前期のまとめ① | 前期の学習内容の復習 | 4 | 講義 | |
| 9月12日 | 岩手県の切り花の実際 | いわてフラワーコンテスト等を見学し、岩手県の切り花生産の実際について学習する。 | 4 | 事例研究 | |
| 9月18日 | 前期のまとめ② | 前期の学習内容の復習 | 2 | 講義 | |
| 9月28日 | リンドウ、小ギクの栽培技術③ | リンドウと小ギクの採花後の管理について学習する。 | 2 | 講義 | |
| 10月1日 | リンドウ、ダリア栽培の実際 | ・近年重要が伸びているダリアの栽培や品種、経営の実際について学習する。 ・リンドウ栽培と経営の実際について学習する。 | 8 | 事例研究 | レポート |
| 10月2日 | トルコギキョウ栽培の実際 | ・トルコギキョウの栽培と実際について学習する。 | 4 | 事例研究 | レポート |
| 11月5日 11月17日 | ・花き産業総合認証(MPS) ・花き流通におけるICT利用 ・切り花の流通 | ・MPSへの取り組みを学ぶ。 ・ICTを取り入れた取引や生産について学ぶ。 | 4 | 講義 | |
| 11月25日 | 切り花の品質保持技術② | 主要切り花における品質保持技術(前処理、後処理など)について学習する。 | 2 | 講義 | |
| 11月27日 12月4日 | 岩手県の切り花栽培概要 | 岩手県の切り花栽培の概要について学習する。 | 4 | 講義 | |
| 12月7日 1月21日 | 切り花栽培のまとめ | これまで学んだ切り花栽培技術について総括的な復習を行い、理解を深める。 | 4 | 講義 | |
| 合計 | | | 60 | 時間 | |

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

前期と後期に筆記試験を実施する。
評価割合は、筆記試験、レポート70%、平常点30%(学習態度、出席状況)として行う。

履修に当たっての留意点等

受講に際しては、事前に教科書、参考書等に目を通しておくことが望ましい。講義は基本的に教科書に沿って行うが、花きの生育状況や天候等により、学習項目の変更や専攻実習など他の講義と置き換わる場合があるため、注意すること。